

合志市人口ビジョン

(案)

平成27年 月

合志市

目 次

I. 人口の現状分析

1. 人口の推移

(1) 総人口

(2) 年齢構成

2. 人口の増減及び移動の状況

(1) 自然増減

(2) 社会増減

(3) 地域間の人口移動

(4) 昼夜間人口

(5) 男女別産業人口と年齢階級別産業人口割合

II. 地域特性・その他

1. 市内のエリア別にみた人口動向等

2. 居住年数

3. 産業構成

4. 健康・運動

5. 出産・子育て

6. 帰属意識

7. 合志市イメージ

III. 人口の変化と地域特性が地域の将来に与える影響

IV. 人口の将来展望

1. 目指すべき将来の方向

2. 人口の将来展望

V. 調査

1. 合志市まち・ひと・しごとアンケート実施概要

2. 調査票

I. 人口の現状分析

1. 人口の推移

(1) 総人口

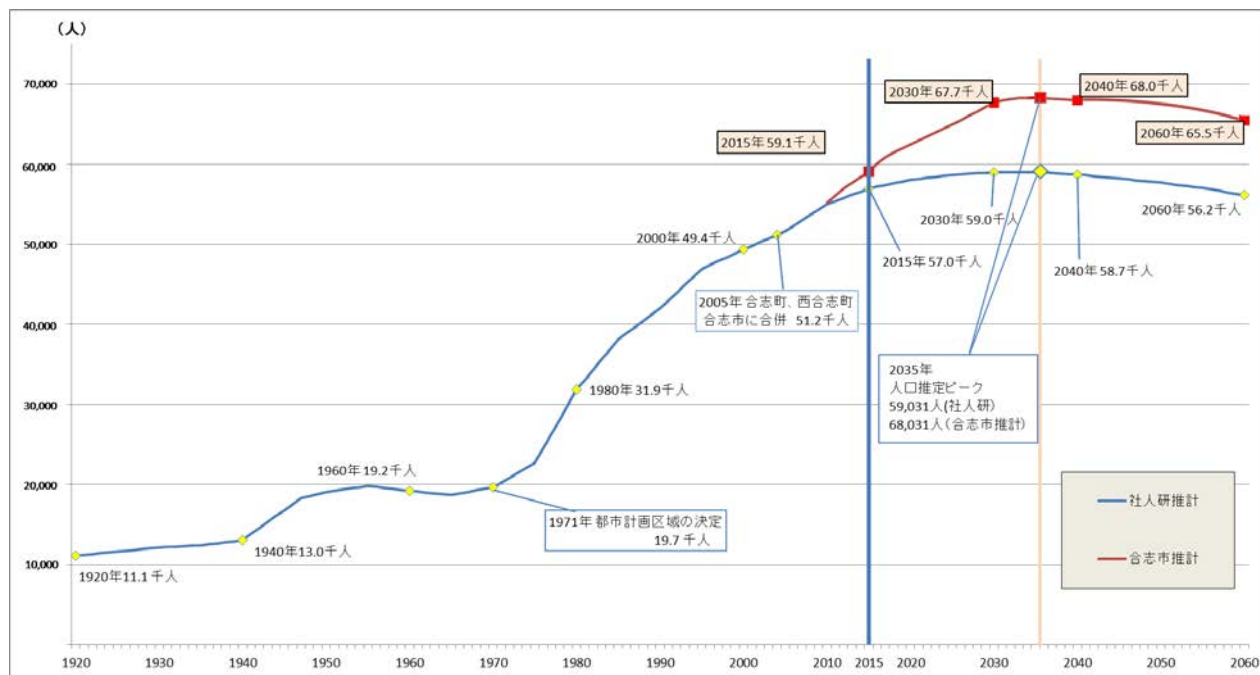
本市の2015年7月時点での人口は、59,288人で、熊本県全体の約3.3%を占めています。

人口の推移をみると、1975年あたりから急激な人口増加がはじまり、熊本市周辺という通勤、通学の利便性及び適度な住宅価格帯であること、また市内工業団地等への企業進出の影響から、現在も増加傾向が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の「日本の地域別将来人口推計」（以下「社人研推計」という。）によると、今後もさらに人口増加が続き、2035年あたりにピークを迎え、その後、減少に転じることが予測されています。本市の人口減少に転じる時期は、全国（2008年）や熊本県（1998年）と比較すると20年から30年遅くなっています。

現在、本市の人口はすでに社人研の推計を上回るペースで増加しており、本市による推計（合志市総合計画、計画期間：平成28年度～35年度）では、2031年には約6万8千人まで増加すると見込んでいます。

総人口推移



・2014年までは「国勢調査、人口推計」（総務省）より作成

・2015年以降の青線グラフは「社人研推計」より作成

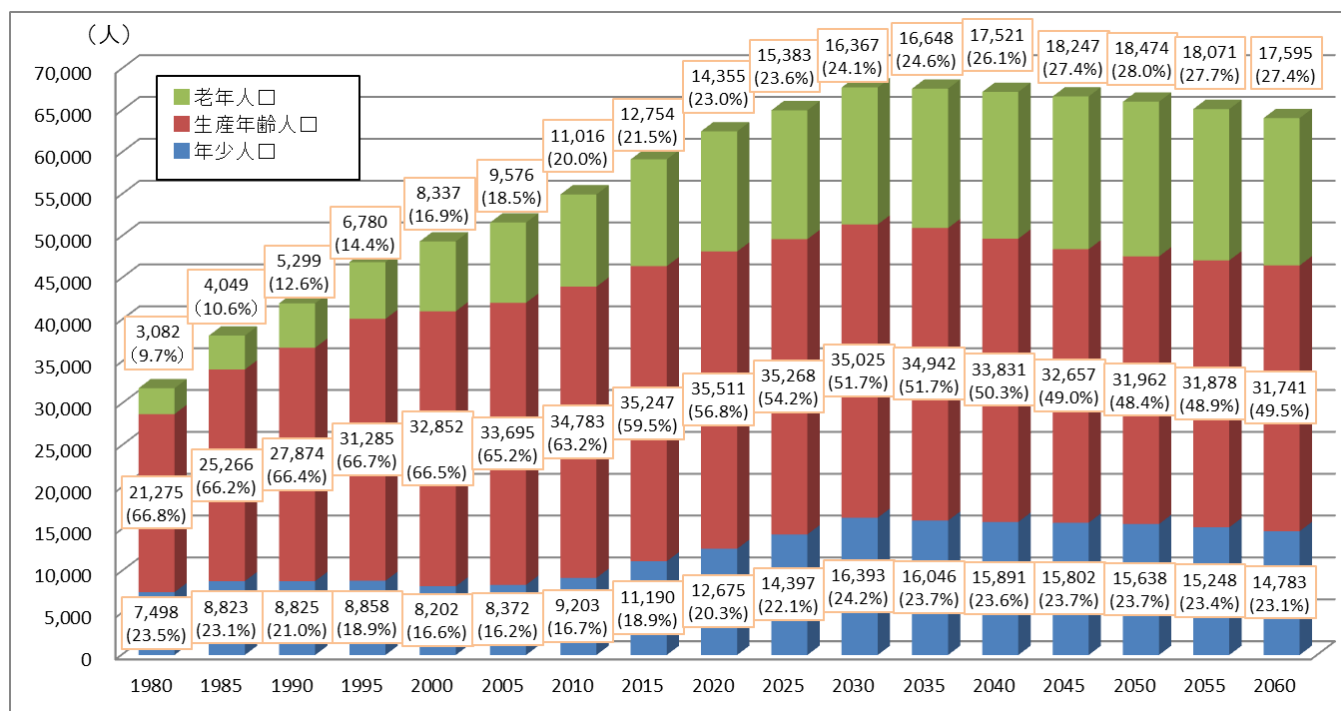
・2015年以降の赤線グラフは、2031年までは合志市総合計画の推計、2032年以降は社人研推計を参考に作成

(2) 年齢構成

本市の 2014 年 10 月 1 日現在の人口の構成は、年少人口（0～14 歳）が 17.0%、生産年齢人口（15～64 歳）が 59.7%、老年人口（65 歳以上）が 25.7%となっており、熊本県全体と比較すると年少人口及び生産年齢人口の占める割合が高く、高齢化率は県内 45 市町村のなかで 3 番目に低くなっています。

しかし人口推移をみると、1995 年を境に老年人口が年少人口をピークに減少していくと予測しています。割合では、老年人口割合は徐々に高まり 2050 年の 28.0%をピークに微減傾向で推移し、生産年齢人口割合は 2050 年まで減少の一途をたどり、2010 年から 2040 年までに 8.8 ポイント減少すると見込んでいます。

総人口・年齢 3 区分別人口推移



・ 2010 年までは「国勢調査」（総務省）より作成

・ 2015 年以降は、「合志市総合計画」及び「社人研推計」を参考により作成

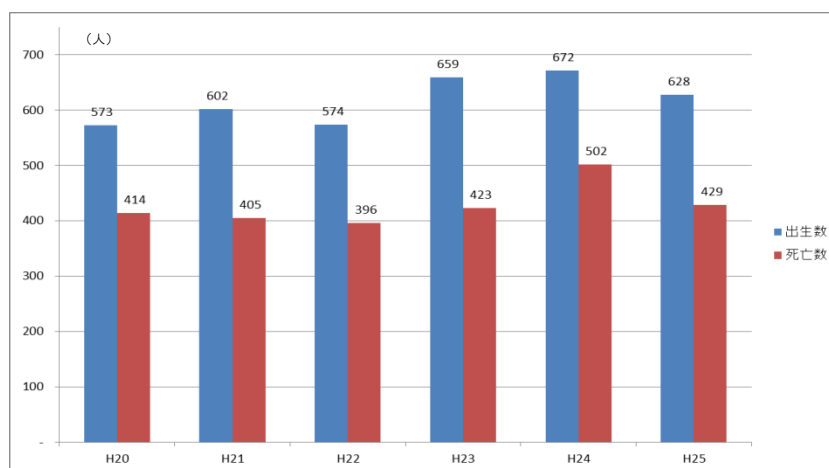
2. 人口の増減及び移動の状況

(1) 自然増減

①出生数及び死亡数

近年、出生数が死亡数を上回る傾向が続いており、自然増減においては増加を維持しています。

出生数及び死亡数の比較

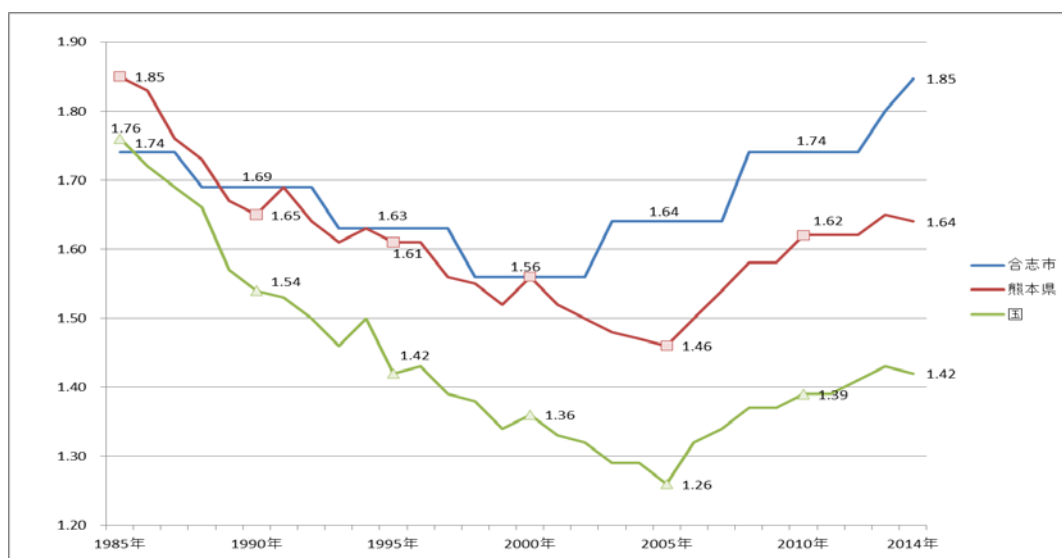


「熊本県衛生統計年報」(熊本県)より作成

②合計特殊出生率・出生数

合計特殊出生率の推移をみると、およそ国や熊本県と同様の動向を示していますが、数値は国、熊本県を上回っており、2014年(概数値)では国が1.42、熊本県が1.64であるのに対し、本市は1.85と高い水準になっています。

合計特殊出生率(合志市、熊本県、国)



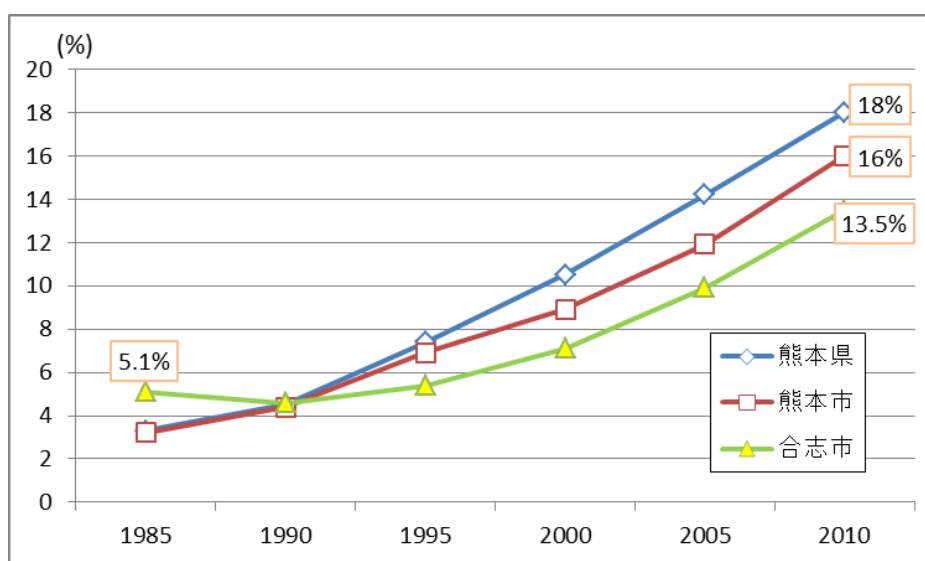
※合計特殊出生率とは、一人の女性がその年次の年齢別出生率で、一生の間に産むとしたときの子供の数を表したものの。

③生涯未婚率

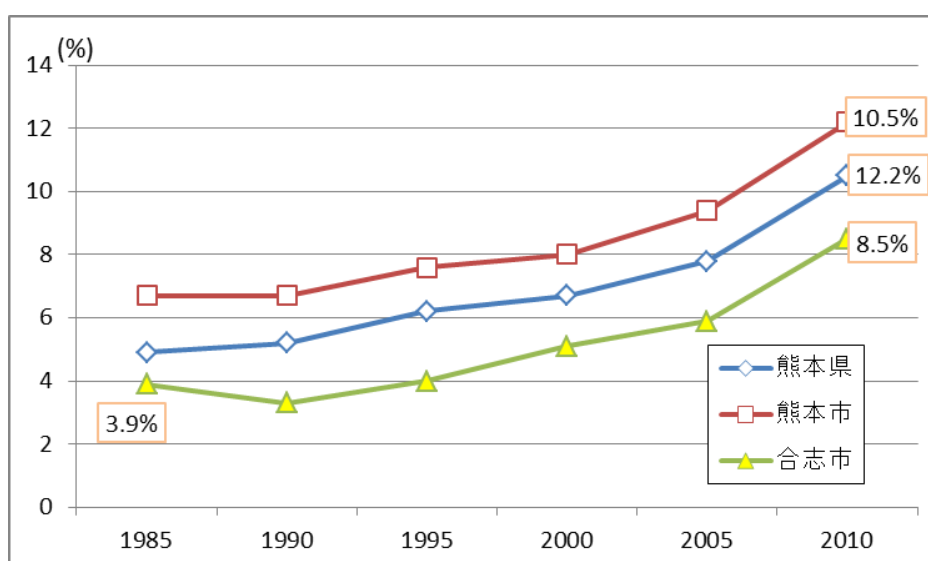
出生数に影響を及ぼす要因の一つとされている生涯未婚率の本市の状況は、2010 年において男性 13.5%、女性 8.5%と、熊本県及び熊本市より低くなっていますが、男女共に上昇傾向となっています。

男女別にみると、男性の方が高い傾向にあり、1985 年と 2010 年を比較すると、女性が 4.6 ポイントの上昇に対して男性は 8.4 ポイントの上昇となっています。

生涯未婚率（男）



生涯未婚率（女）



「国勢調査」（総務省）より作成

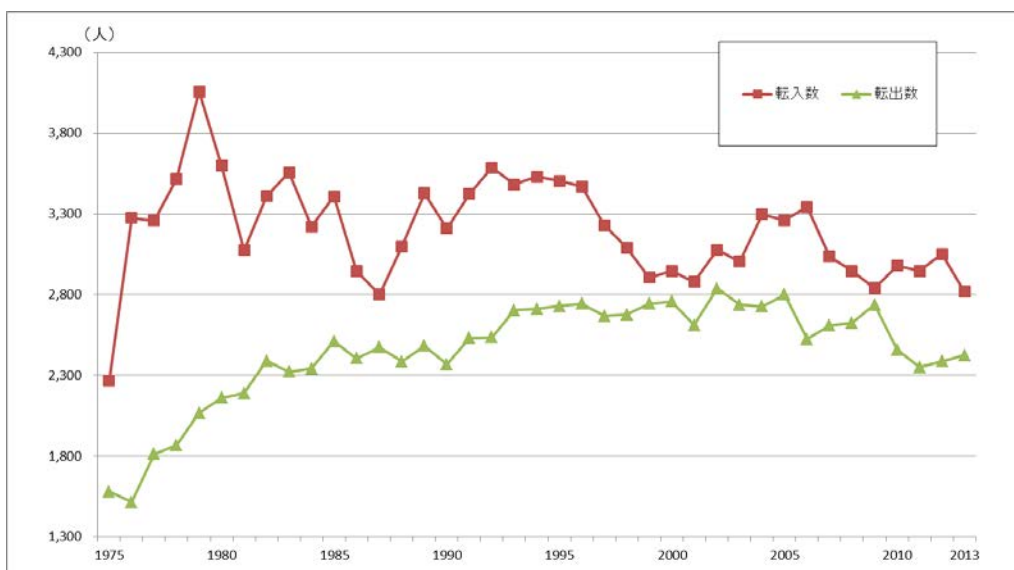
（２）社会増減

①転入・転出の状況（総数）

本市の転入・転出の状況は、転入超過が続いており、人口増加の要因となっています。

また、市民 6000 人を対象に実施した「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（以下 合志市アンケート）によれば、本市へ転入した理由として「職場が近いから」が最も多い回答となっており、次いで「親の近くに住みたいから」、「家を購入した（建てた）から」などとなっています。

転入数・転出数推移



「人口動態統計」（厚生労働省）より作成

本市への転入理由

順位	回答内容	単語使用回数
1	職場が近いから	264 (6.6%)
2	親の近くに住みたいから	121 (3.0%)
3	家を購入した（建てた）から	117 (2.9%)
4	結婚を機に	89 (2.2%)
5	土地が安くて購入したから	84 (2.1%)
6	環境が良く便利だから	84 (2.1%)
7	熊本市内に近くて便利だから	75 (1.9%)
8	夫（主人）の会社の転勤で	67 (1.7%)
9	妻の実家が近いから	63 (1.6%)
10	合志市に職場があるから	62 (1.6%)

「合志市まちひとしごとアンケート」（合志市）より作成（回答 961 人）

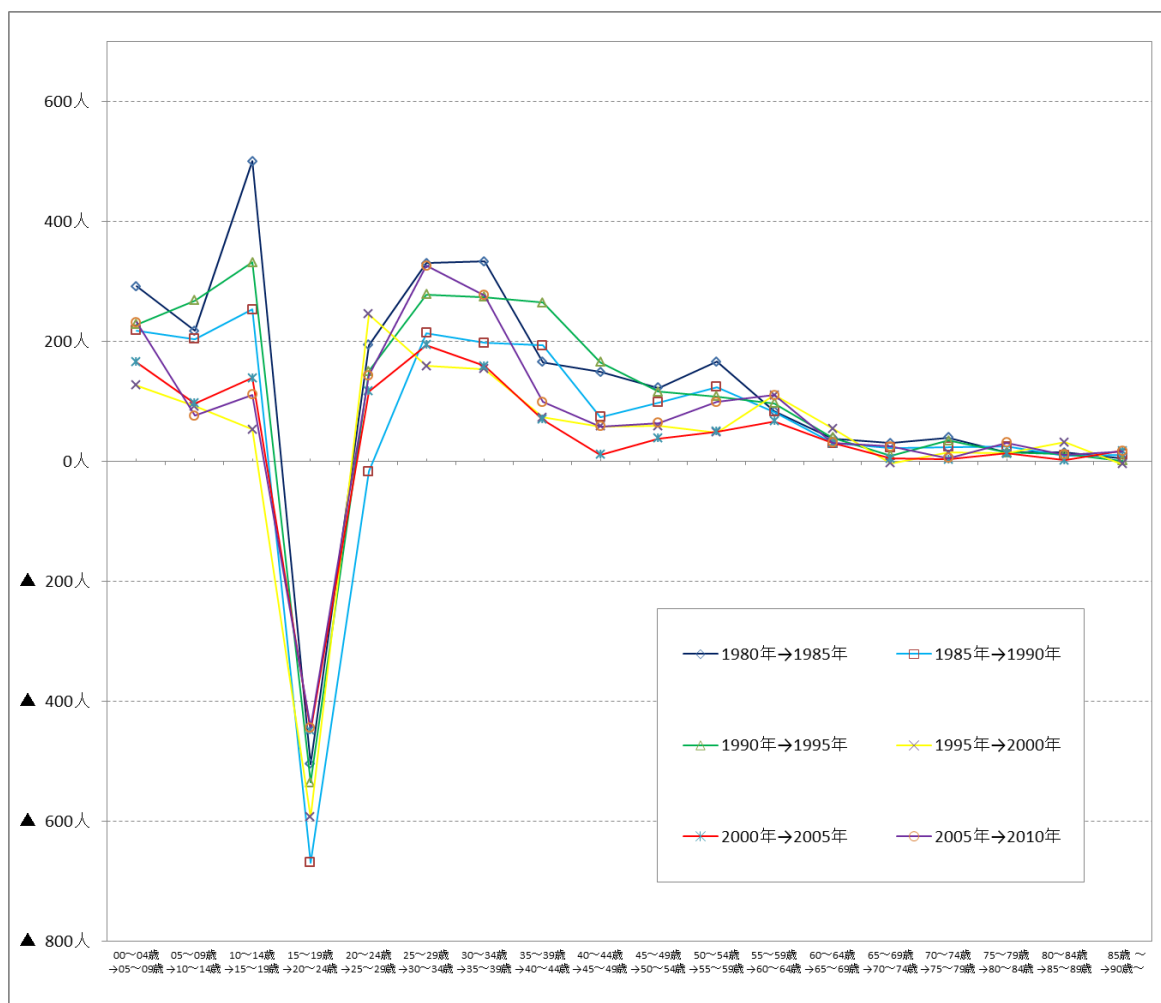
②世代別・男女別にみた転入・転出の状況

世代別の転入・転出の大きな特徴は、「15 歳から 19 歳」の世代が「20 歳から 24 歳」となる期間（5 ヶ年）での転出が極端に多いことです。2010 年時点において、転出数が転入数を上回っているのは当該世代のみとなっています。これは、大学進学や就職を契機に市外あるいは県外へ転出していることが主な要因と推測されます。

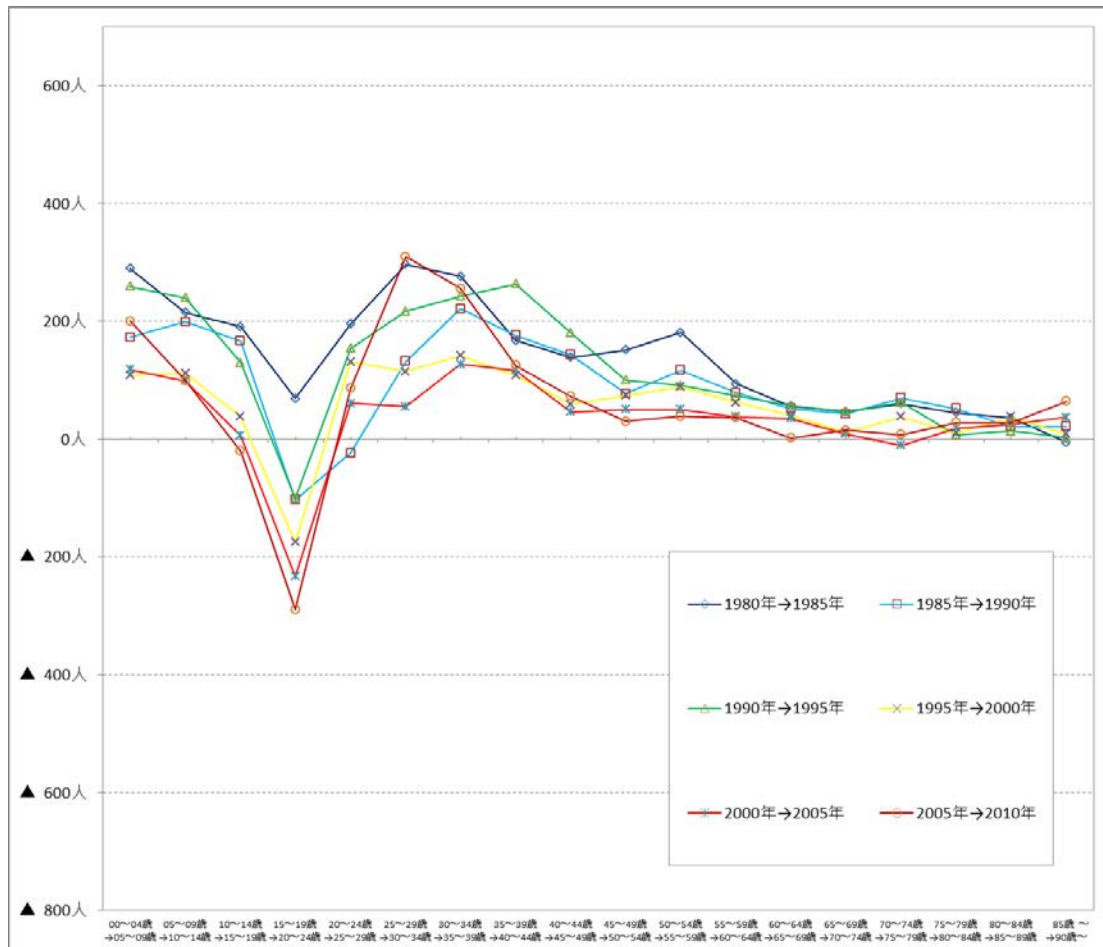
その一方で、2005 年から 2010 年の動向をみると、「25 歳から 29 歳」の世代が「30 歳から 34 歳」となる期間が最も多い転入超過となるなど、子育て世代の転入が全体の転入増加の下支えとなっています。

若年層の転出超過の状況を男女別にみると、男性の方が多くなっています。ただ、時系列にみれば男性の転出超過が縮小傾向であるのに対して、女性の転出超過は拡大傾向にあります。

性別・年齢階級別 転入・転出の時系列推移（男）



性別・年齢階級別 転入・転出の時系列推移（女）

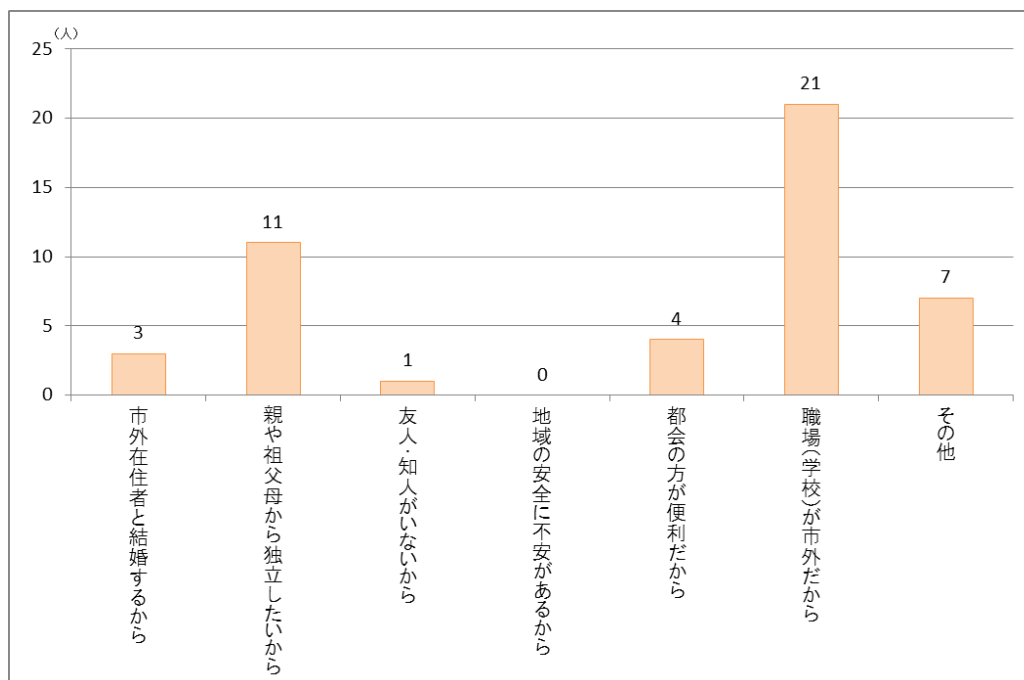


「国勢調査」（総務省）より作成

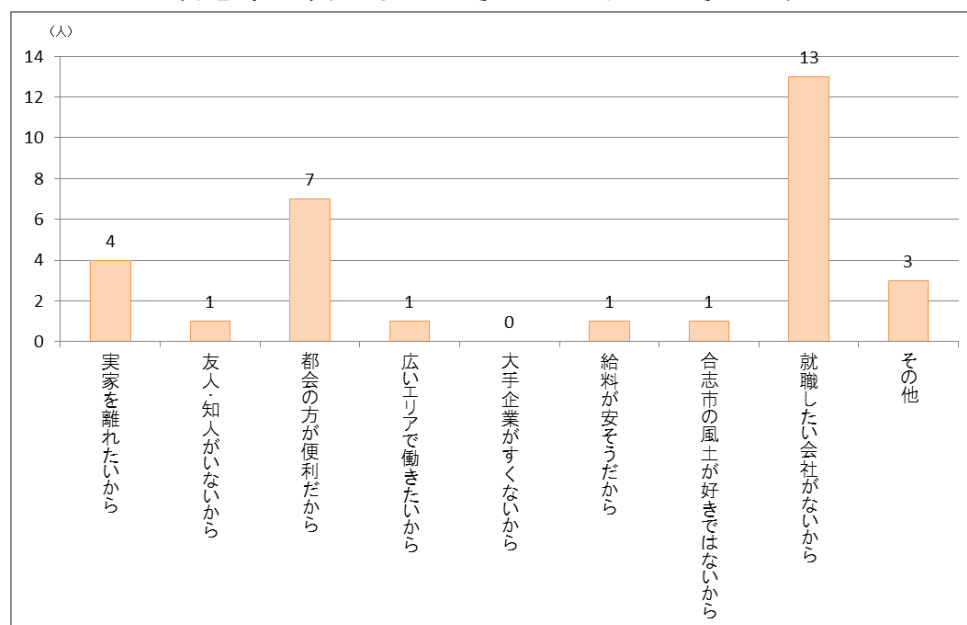
15 歳から 24 歳の世代で「市外への引越しを考えている」と回答は 47 人で、対象者の約 37%となっています。また、その理由の約 45%は「職場（学校）が市外だから」となっています。

さらに、「市外への引越しを考えている」と答えた人に対する「将来は合志市に戻って住みたいと思いますか」の問いに、約 66%の 31 人が「いいえ」と答えています。その理由の約 42%が「就職したい会社がないから」と答えており、若者の転出には仕事に関する環境が大きく影響していることがうかがえます。

市外への引越しを考えている人（15 歳から 24 歳）のその理由



市外への引越しを考えている人（15 歳から 24 歳）のうち、 合志市に戻らないと考えている人のその理由

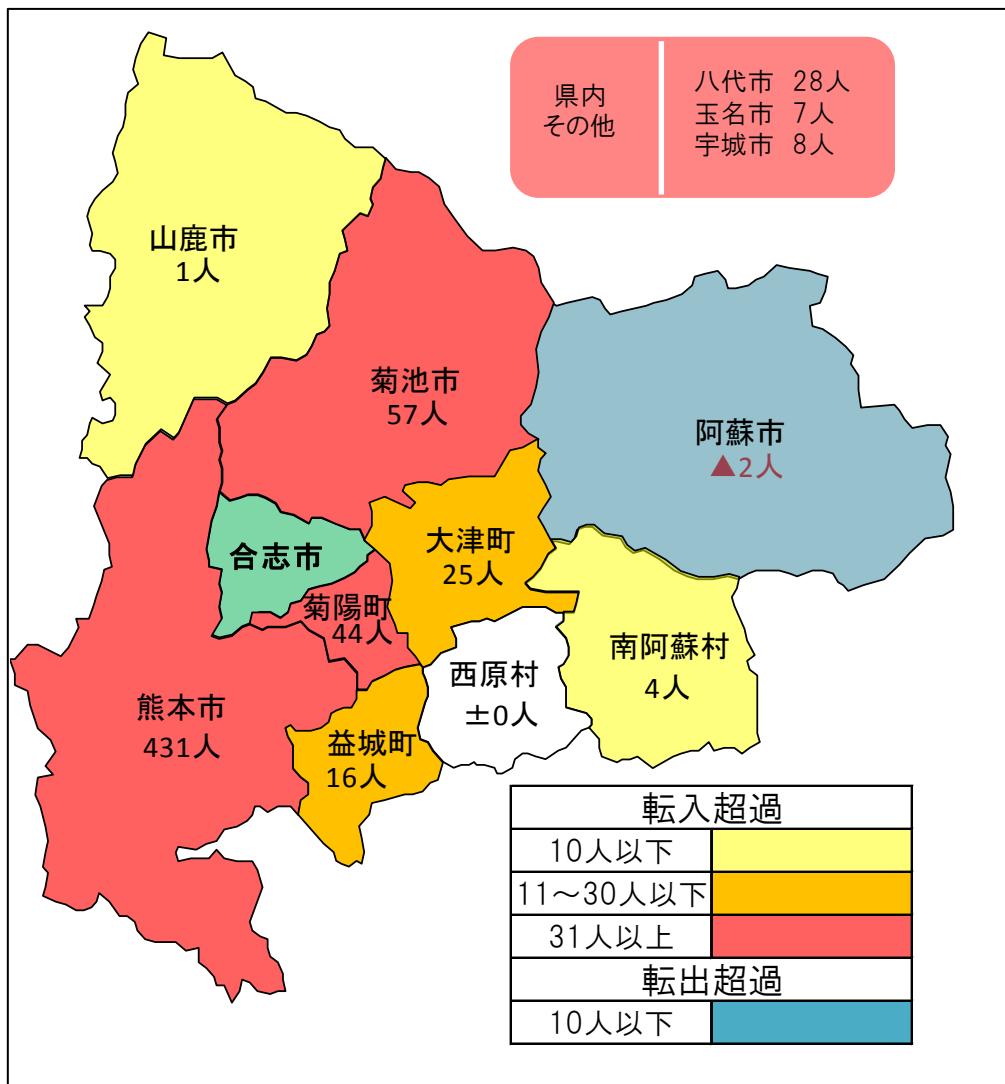


「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より作成

(3) 地域間の人口移動

2013 年の本市への転入者（2871 人）のうち、約 7 割が熊本県内からの転入となっており、特に熊本市、菊池市、菊陽町、大津町からの転入超過数が多くなっており、県外では関東への転出が多くなっています。

地域別転入出の状況と超過（2013 年：県内）



地域別転入出の状況と超過（2013 年：県外・その他）

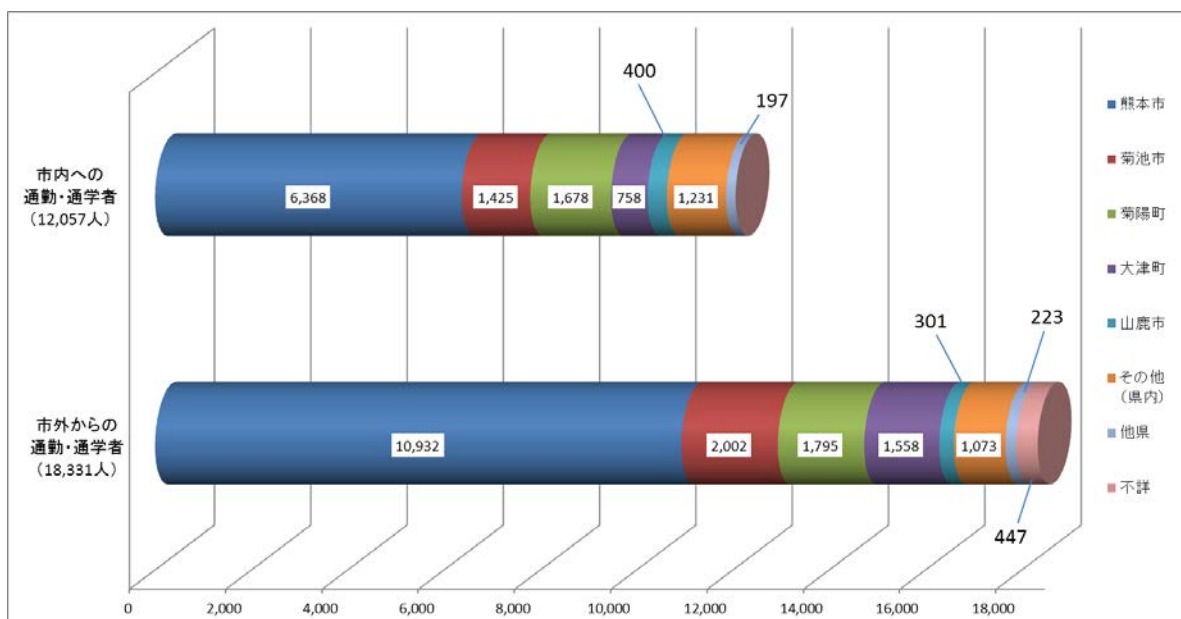
県外・他						
▲57人	0人	▲18人	25人	▲18人	3人	64人
関東	関西	福岡県	長崎県	鹿児島県	宮崎県	外国他

(4) 昼夜間人口

本市の通勤・通学による人口の動きをみると、平成 22 年時点で 6,274 人の流出超過で昼間の人口は 48,728 人（平成 22 年国勢調査人口 55,002 人）となり、昼夜間人口比率（夜間人口 100 人当たりの昼間人口）は 88.59% となっています。

人口の流出先としては、熊本市が 1 万人を超えて最も多くなっており他県へは、流入・流出ともに福岡県が最も多くなっています。

通勤・通学による人口の動き（流入・流出）の比較（平成 22 年）

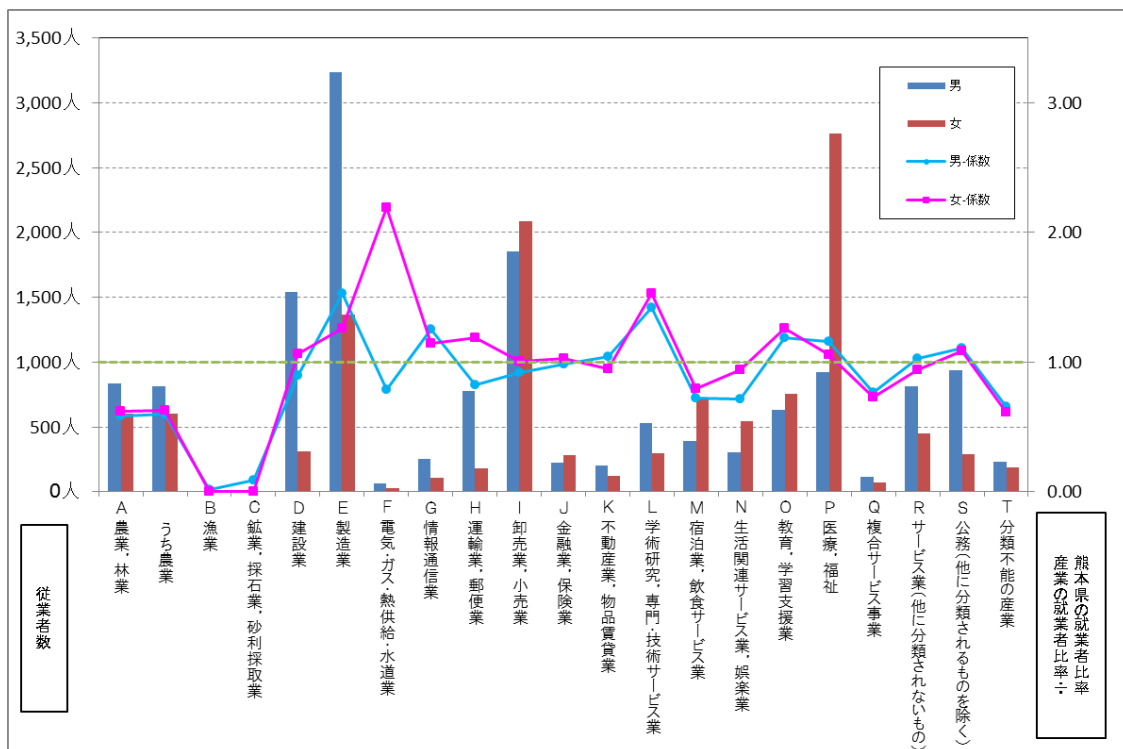


「国勢調査」（総務省）から作成

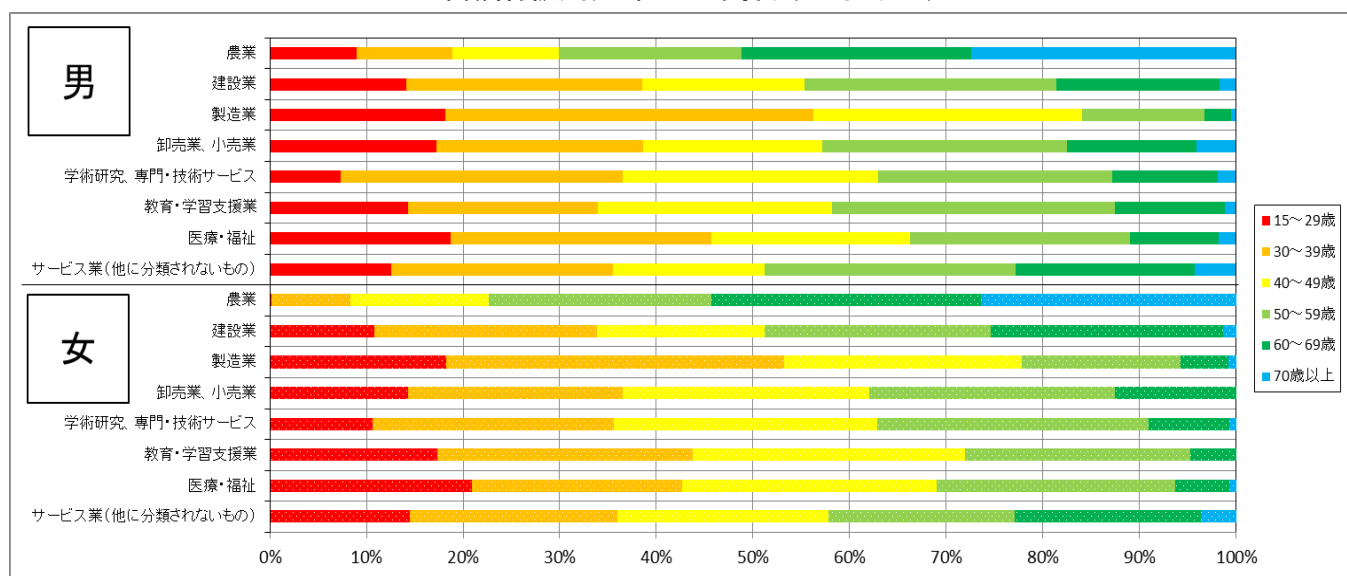
(5) 男女別産業人口と年齢階級別産業人口割合

男女別の産業人口をみると、男性では製造業、女性では医療・福祉の就業者が最も多くなっています。また、年齢階級別産業人口をみると、農業従事者は男女共に70%以上が50歳以上となっています。

男女別産業人口



年齢階級別産業人口割合(主なもの)



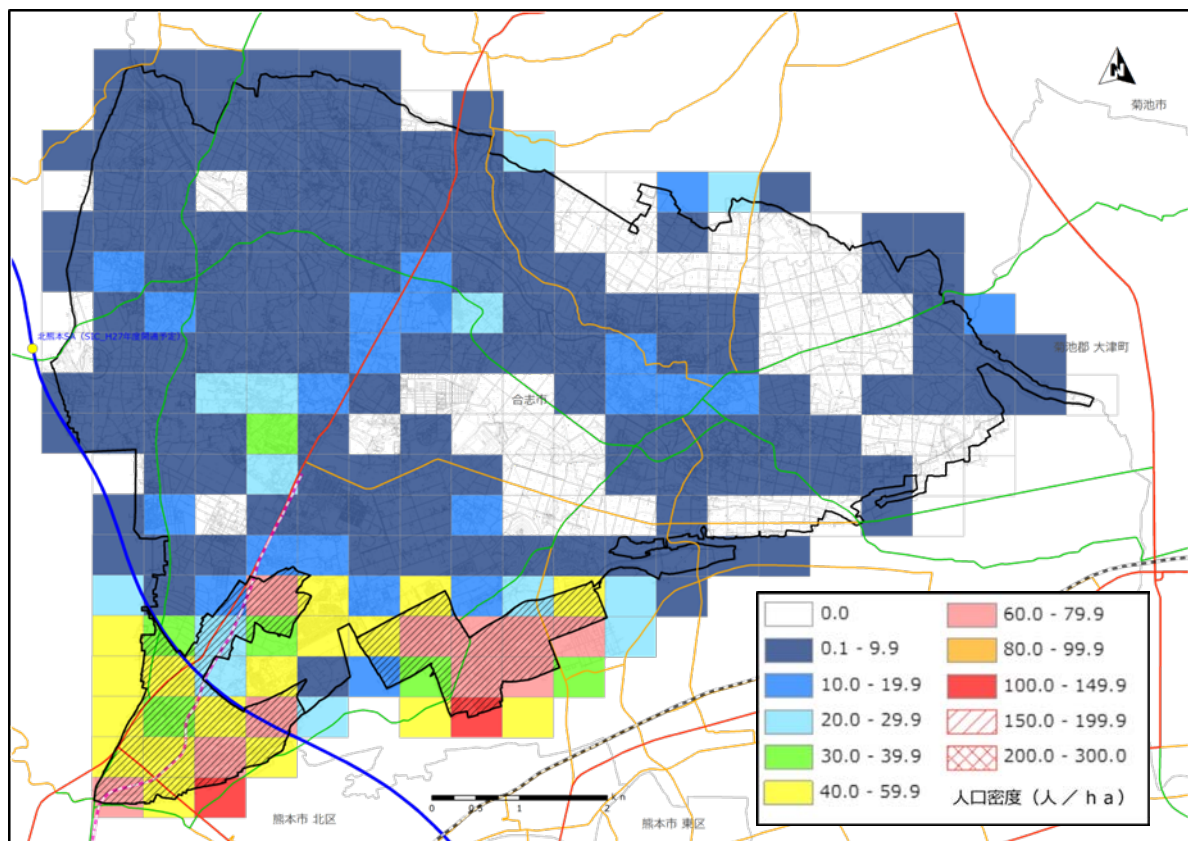
Ⅱ. 地域特性・その他

1. 市内のエリア別にみた人口動向等

本市は、農地が広がる北部地区と住宅地や商業施設が並ぶ南部地区に大きく分けられ、人口は南部地区に集中しています。それは、昭和 46 年に熊本県が指定した熊本都市計画区域によって、市内面積の約 1 割（南部地区の一部）を計画的な市街化を図る市街化区域とし、9 割を優れた自然環境等を守る市街化調整区域として指定されたことが大きな要因です。

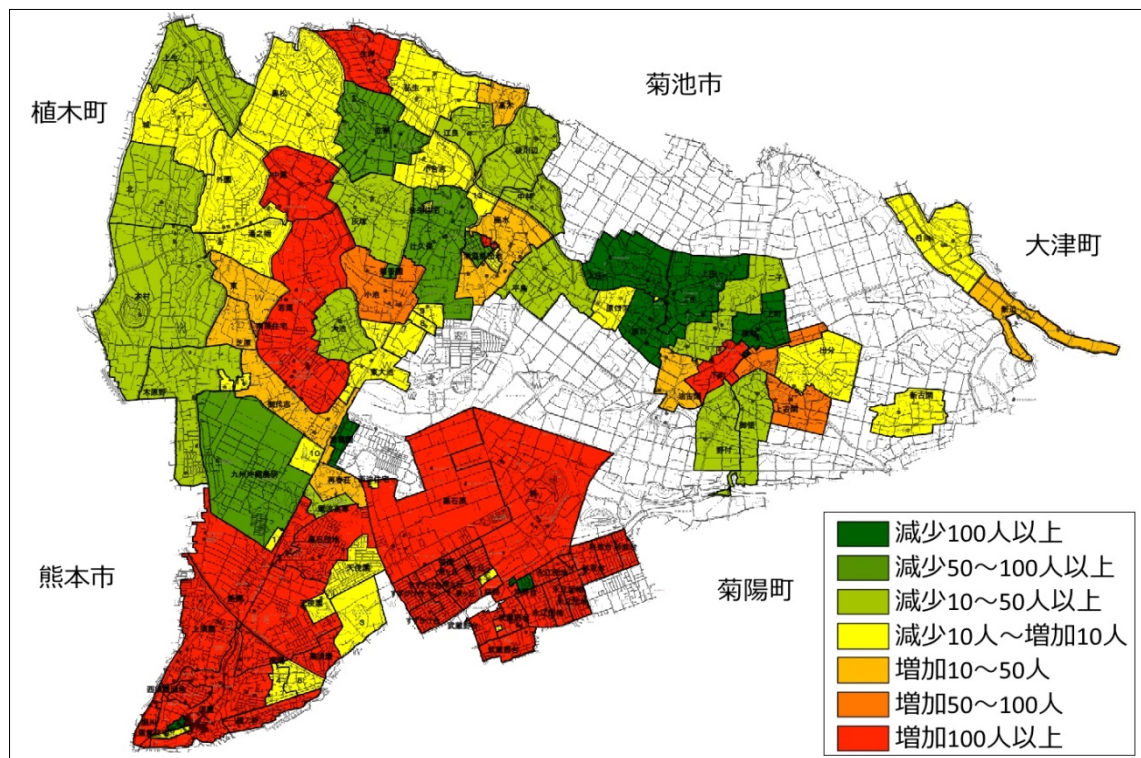
そのため、市街化区域である南部地区の住宅地などで特に高い人口密度となっています。今後の人口増減の予測としては、南部地区の須屋や泉ヶ丘のほか、御代志駅周辺や合志庁舎周辺、北部の野々島などで人口の増加が見込まれています。

地区別人口密度現況図（500m メッシュ集計）



平成 22 年国勢調査（総務省）から作成

地区別人口増減図（平成 26 年から平成 43 年推計）



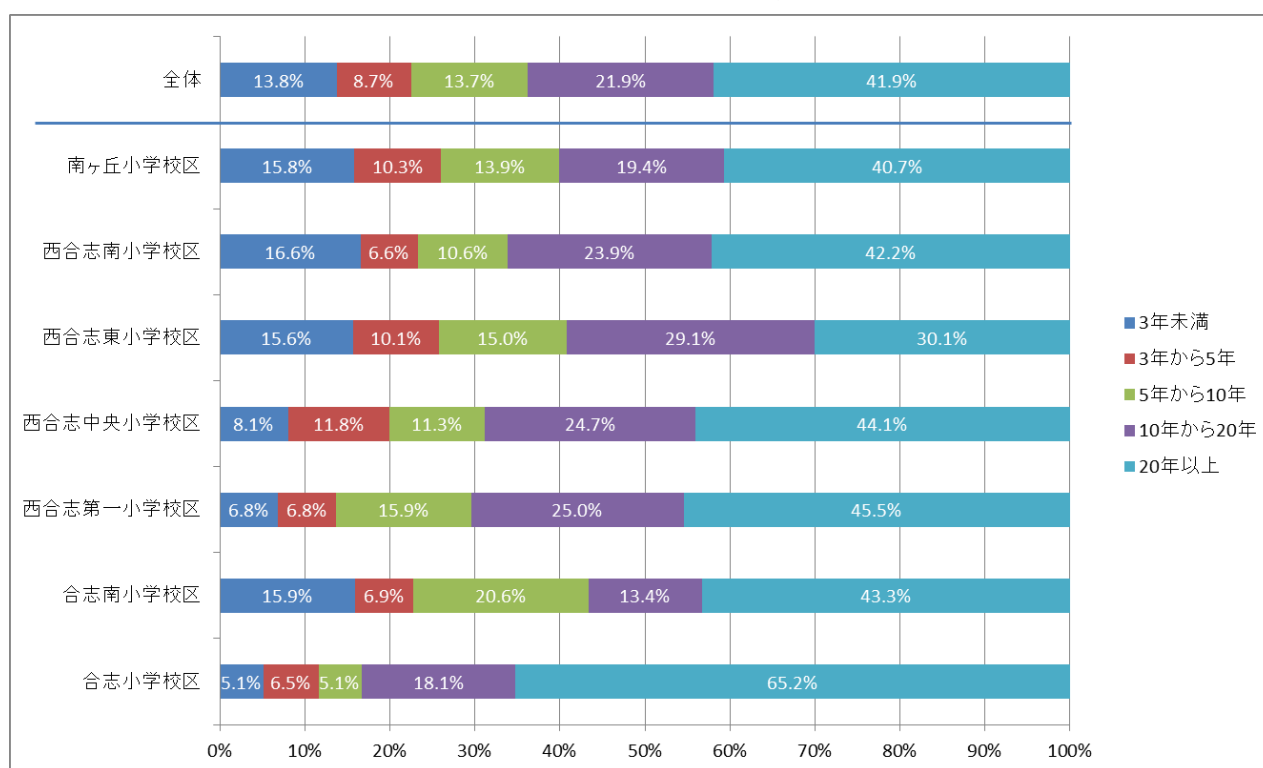
「合志市都市再興のためのPRE活用検討調査」（合志市）より作成

2. 居住年数

現在の住居に住んでいる年数をたずねたところ、北部の合志小学校校区では、半数以上が20年以上の居住年数となっている一方で、転入者の多い南部の西合志東小学校区では、居住年数5年未満が4分の1を占めています。

全体の居住年数別では、3年未満が13.9%、3年から5年が8.7%、5年から10年が13.7%、10年から20年が21.9%、20年以上が41.9%となっています。

小学校区別居住年数

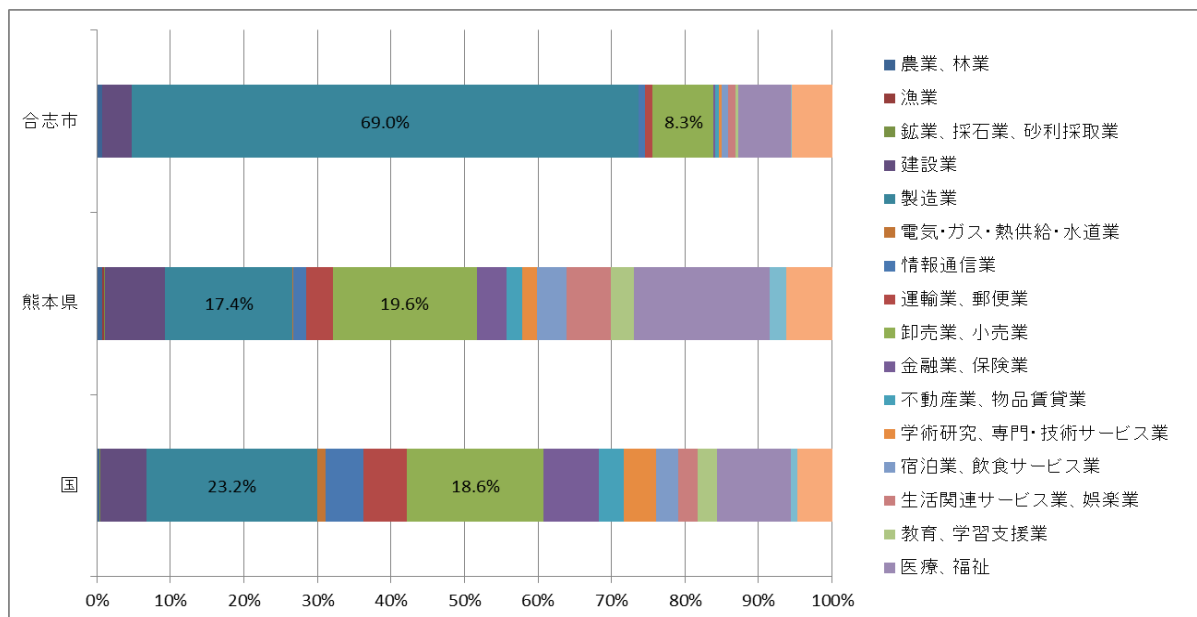


「合志市まち・ひと・しごとアンケート」(合志市)より作成

3. 産業構成

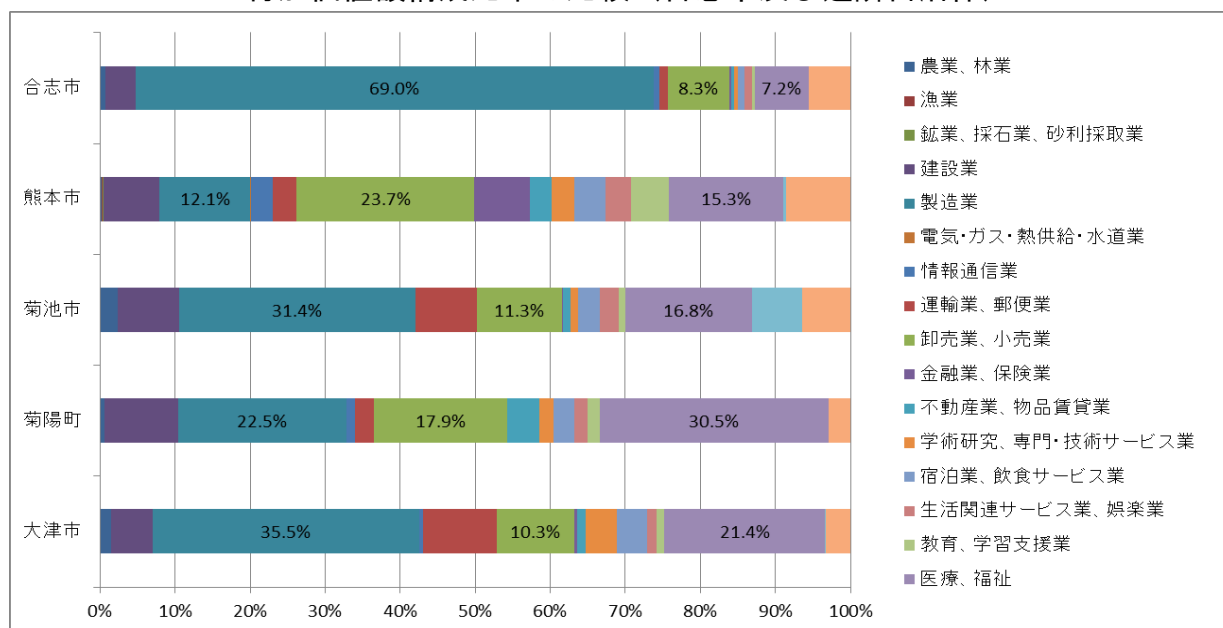
産業の構成比率を付加価値額ベースで表すと製造業が全体の約7割を占めています。また国、県においては2割近い卸売業、小売業が当市では大幅に下がり1割を満たしていません。近隣自治体との比較でも、同業種の割合が低く、消費先、勤務先としても人口流出に大きく影響しています。

付加価値額構成比率の比較（合志市、熊本県、国）



付加価値額=売上高-(売上原価+販管費)+給与+租税公課

付加価値額構成比率の比較（合志市及び近隣自治体）



経済センサス 平成 24 年

4. 健康・運動

合志市の平均寿命は、男性 81.0 歳、女性が 87.4 歳（平成 22 年度）で、熊本県の平均寿命、男性 80.3 歳、女性 87.0 歳をやや上回っていますが、国民健康保険特定健診受診率が同規模自治体と比べて 5% 低く、その未受診者で生活習慣病の方に掛かる医療費が著しく高い傾向にあります。なかでも、特に生活習慣病を見る指標のひとつである、LDL（悪玉）コレステロールの高い人の割合は、県下 14 市中 1 位になっています。

平成 27 年度合志市民意識調査アンケートでは、健康や体力の保持・増進のために運動を週 2 回以上行っている人が 32%、週 1 回程度が 13%、ほとんど行っていない人が 45% という結果が出ています。同調査で、「今後スポーツに取り組んでみたいと思うか？」という質問に対しては「思う」の回答が 59.3% と高くなっています。現在運動を行っていないが、機会があれば運動したいという、行動変容が起きやすい層があることが伺えます。

健診受診者と未受診者の一人当たりにかかる医療費の同規模自治体との比較

	医療費	健診	合志市	人口同規模自治体
外来	生活習慣病 一人当たり費用額	受診者	8,793 円	11,036 円
		未受診者	36,453 円	27,285 円
	一人当たり費用額	受診者	2,013 円	3,931 円
		未受診者	8,346 円	9,718 円

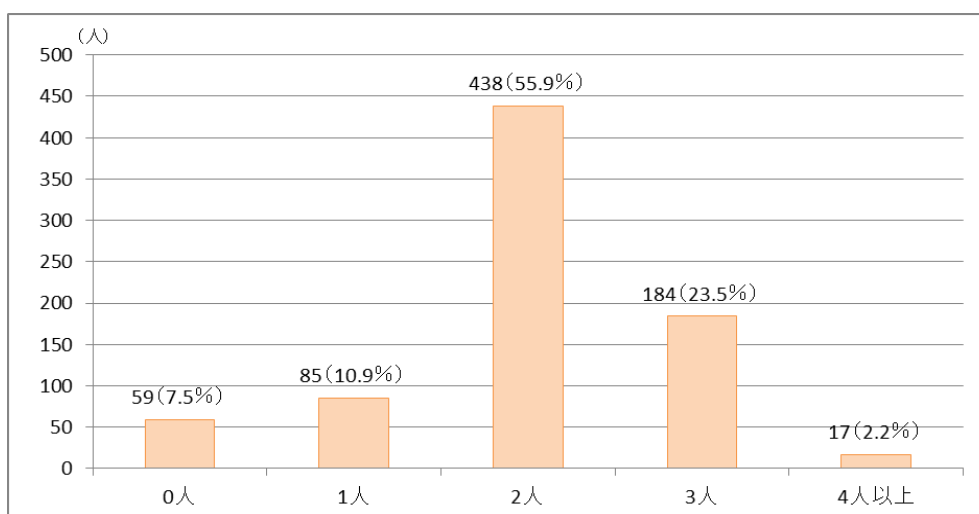
平成 25 年度 国民健康保険連合会

5. 出産・子育て

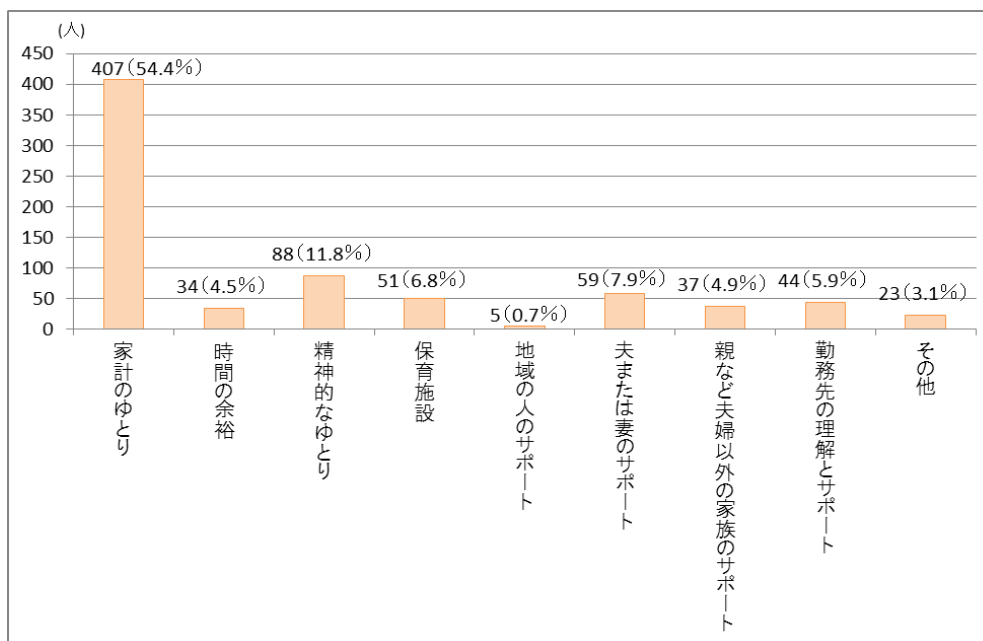
「何人子どもを欲しいと思うか」の問いに対し、「2人」の回答が最も多く55.9%、次いで「3人」の23.5%、「1人」が10.9%などとなりました。

また、希望する子供の人数に必要な条件を聞くと「経済的なゆとり（55.4%）」が最も多く、次いで「精神的なゆとり（11.8%）」などとなっています。

希望する子供の人数



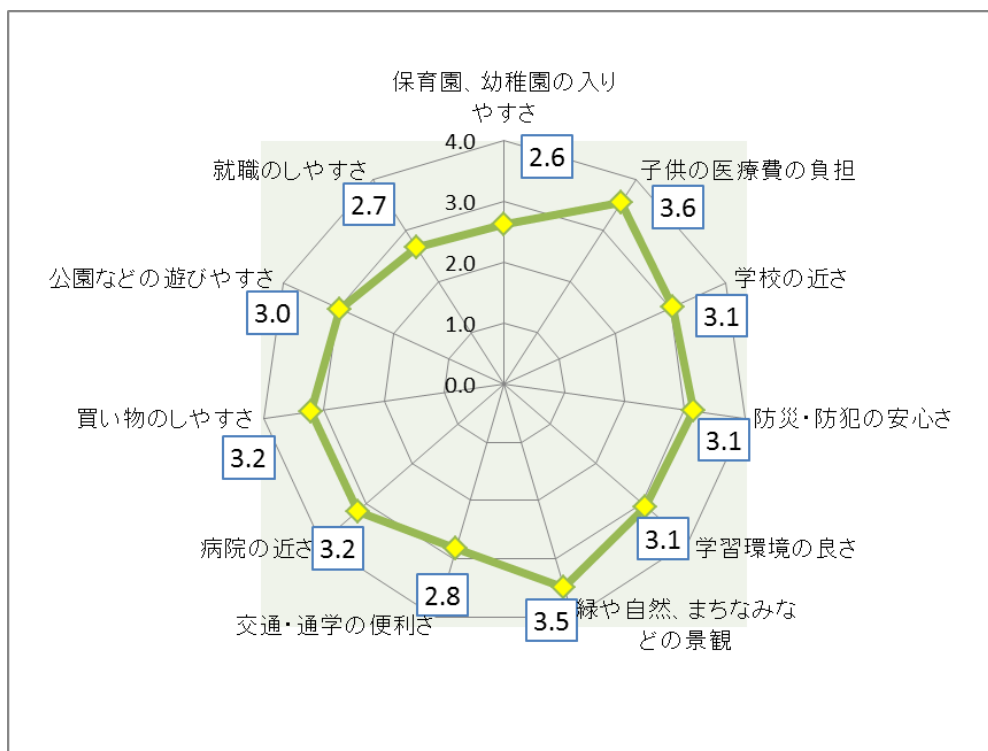
希望する子供の人数に必要な条件



「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より作成

本市での子育ての環境を評価してもらったところ、「子供の医療費負担」、「緑や自然、まちなみなどの景観」などに対する評価が高かく、反対に「保育園、幼稚園の入りやすさ」、「就職のしやすさ」の評価が低い結果となりました。

子育ての環境評価

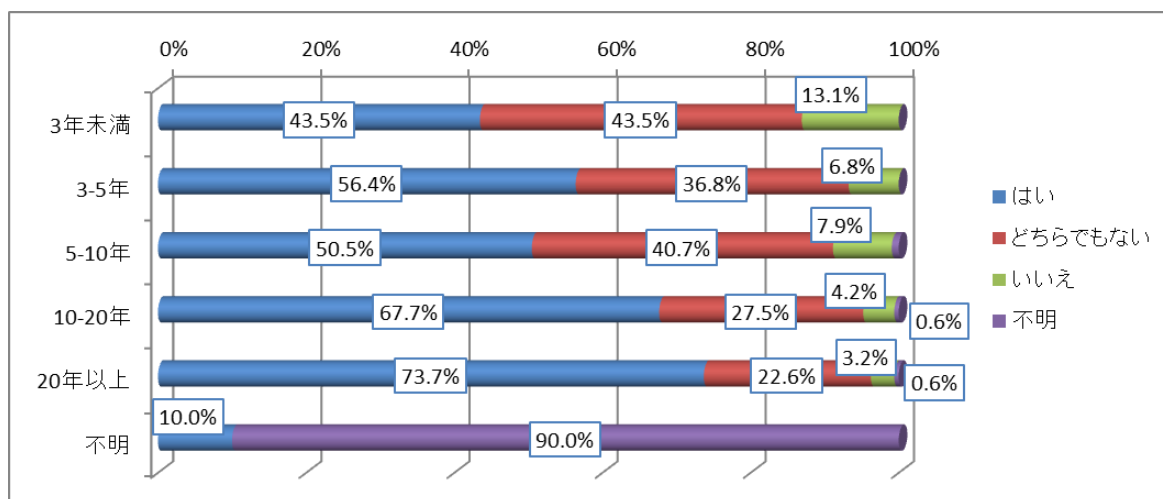


「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より作成

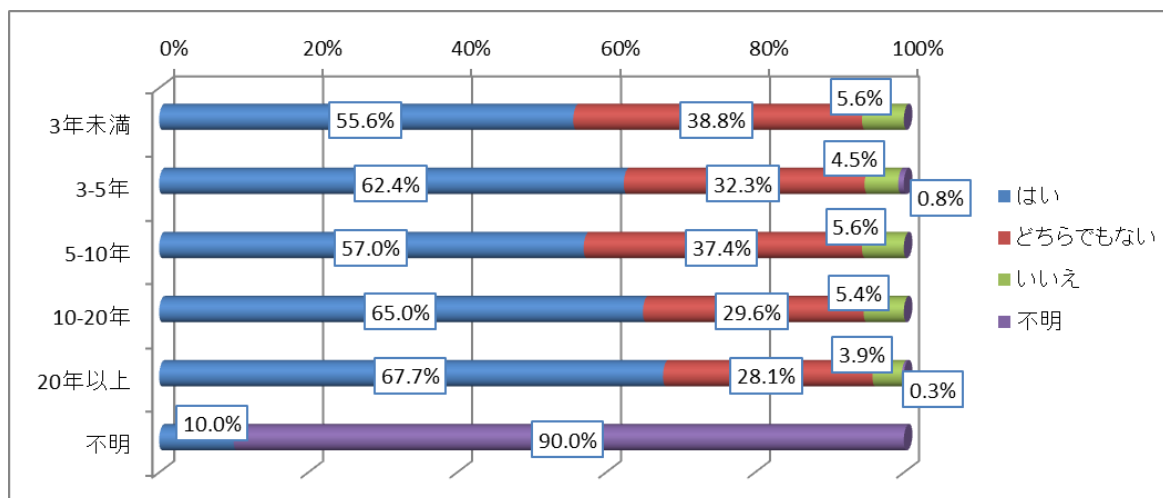
6. 帰属意識

本市への愛着やまちづくりへの関心などの帰属意識をたずねたところ、当然ながら居住年数が長いほど帰属意識が高い結果となりました。特に、「合志市を地元と言えるかどうか」の問いに対しては、3年未満の居住者（25.7%）と20年以上の居住者（72.8%）では3倍近い開きがあります。

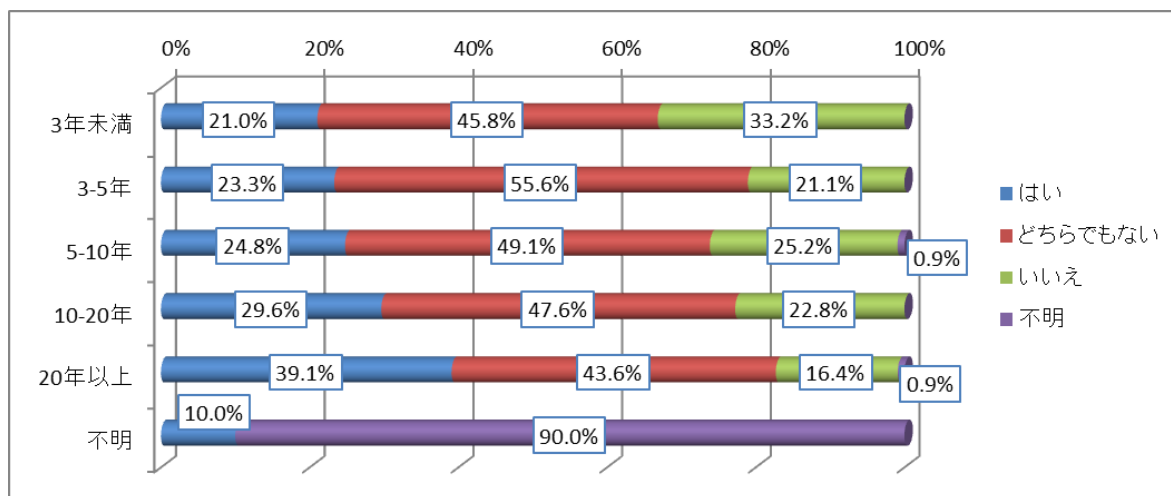
合志市に愛着があるかどうか



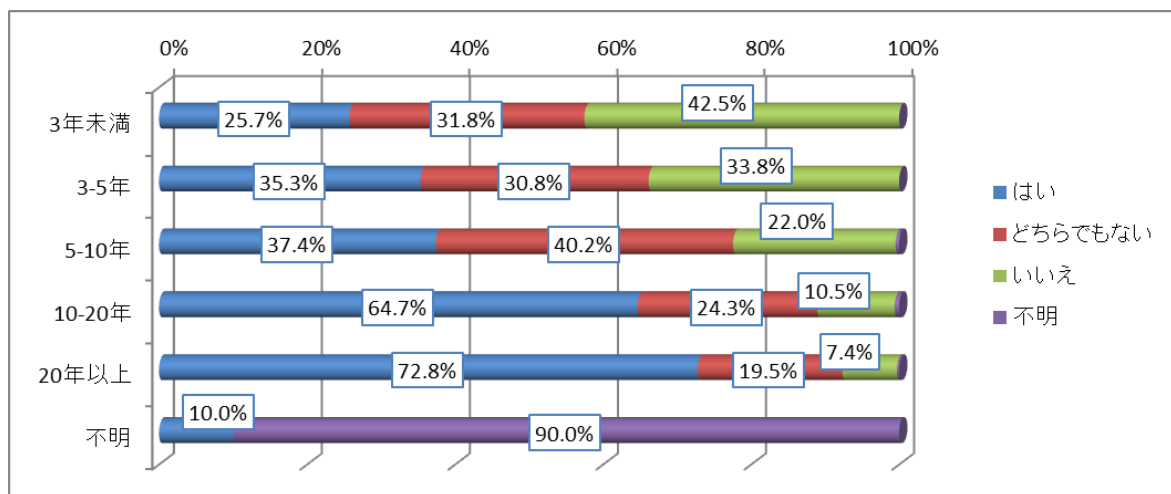
まちづくりに関心があるかどうか



子ども会やPTA、自治会などの市民同士の交流を求めているか



合志市は「地元」といえるかどうか



「合志市まち・ひと・しごとアンケート」(合志市)より作成

7. 合志市のイメージ

「合志市と聞いて何を連想するか」という本市のイメージをたずねたところ（自由記述）、全体の3割以上の方が「子育て支援日本一」と答え、最も多いイメージとなりました。次いで、「熊本市内のベッドタウン（11.3%）」「田舎で自然が多い（10.0%）」などの回答がありました。

合志市と聞いて連想するイメージ

順位	回答内容	単語使用回数
1	子育て支援日本一の町	35.6%（585）
2	熊本市のベッドタウン	11.3%（185）
3	田舎で自然が多く豊か	10.0%（164）
4	住みよい環境	2.8%（46）
5	ヴィーブル	2.6%（42）
6	農業公園	2.4%（40）
7	西合志	2.2%（36）
8	光の森が近い	2.2%（36）
9	災害が少ない	0.5%（8）
10	企業が少ない	0.4%（6）

「合志市まち・ひと・しごとアンケート」（合志市）より作成

Ⅲ. 人口の変化と地域特性が地域の将来に与える影響

(1) 地方財政への影響

- ・ 老年人口比率が高まることによる社会保障費の増加、また生産年齢人口の減少による、税収負担世代の縮小も重なり、財政運営は更に厳しくなることが予測されます。

(2) 地域経済

- ・ 合志市外で消費活動が続くと、市内の小売業、飲食業を中心とした企業は消費者需要を感じにくく、出店を控えることが予測でき、商業全体の衰退に繋がります。
- ・ 若年層の転出超過により、人材不足や一部地域においてコミュニティの偏りが発生し地域全体の衰退に繋がります。
- ・ 特定製造業への依存が高いため、経済動向による影響を受けやすくなっています。

(3) 土地利用・住宅への影響

- ・ 新規住宅地開発が終わり、転入者が減少すると社会増減の逆転を迎えます。
- ・ 特に 2040 年以降は、老年人口比率が高まり、南北地域格差、また北部住宅地内でも高齢化地域が生まれ、コミュニティ維持の困難や、新規入居の敬遠が予測されます。
- ・ 既存家屋の空き家も増加し、景観、防犯、防災等のへの対策が必要とされます。

IV. 人口の将来展望

1. 目指すべき将来の方向

全国より約10年早く人口減少の局面に入っている熊本県にあって、本市の人口は今後も緩やかな増加が続き、2030年あたりをピークに減少に転ずることが予想されています。

人口推移だけをみると、本市にとって人口減少問題は比較的深刻ではないように見えるものの、人口のピークアウトは必ず迎え、高齢化は着実に進みつつあります。

また、総人口が増加する状況にあっても、若年層（19歳から24歳）だけは転入数より転出数が上回る社会減となっており、本市で生まれ育った多くの若者が市外に流出しています。

さらに、これまで人口増加の受け皿となってきた市南部地域に点在する新興住宅地は、それぞれ同世代の住民が多く住んでいるため、局地的な高齢化が一気に進み、地域の活力やコミュニティが低下すること考えられます。

そのため、総人口と年齢構成を車の両輪として、適正なバランスを保ち続けることが重要です。

また、熊本県全体から本市をみた場合、熊本都市圏と県北部をつなぐ重要な拠点として、熊本県内から首都圏等への人口流出を防ぐ役割を担っていくことが求められます。

以上のことを踏まえ、国や熊本県、関係市町村等と連携しながら、企業や地域住民等と一体となって活力ある地域社会を創生していくとともに、熊本県の成長エンジンとして地方創生を牽引するため、次の4つの視点により、全ての人が安全に、安心して暮らすことができるまち「健康都市こうし」の実現を目指します。

(1) 稼げる地域産業をつくる

本市の雇用や産業付加価値を中心的に支えている製造業や重要な基幹産業である農業など、現在の地域産業のさらなる強化を図るとともに、環境やヘルスケア、デジタルコンテンツなど今後成長が見込まれる新たな産業を地域に呼び込み、産業の多様化と異業種間連携等によるイノベーションを創出し、地域産業の稼ぐ力の向上を目指します。

(2) 合志市への新しいひとの流れをつくる

地域の次世代を担う若者の流出を防ぐため、市内若しくは通勤圏内への就業を高めるとともに、ＵターンやＩターンなど市外からの人材を受け入れる環境づくりを推進します。

また、豊かな農業や広大な公園施設、温泉や公共交通機関など、地域の観光資源を有機的に結びつけ、関係市町村等とも連携しながら、交流人口の拡大を目指します。

(3) 市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代の結婚、出産、子育ての希望を実現するため、行政、事業主、地域社会等が一体となって、子どもの健やかな成長と子どもを産み育てられるまちづくりを目指します。

(4) 暮らしに満足し、住み続けたい地域をつくる

農地が広がる市北部地域と市街化が進む市南部地域、市の全体面積の約〇割を占める国・県有地など本市の土地利用に関する特性を踏まえながら、にぎわいを創出するまちづくりを積極的に進めるとともに、人口減少・高齢化社会や変化し続ける地域コミュニティなどに柔軟に対応し、地域住民の豊かな暮らしの実現を目指します。

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」では、将来にわたって「活力ある日本社会」を維持するため、合計特殊出生率を 2030 年までに 1.8、2040 年頃までに 2.07 まで向上させ、2060 年に 1 億人程度の人口を確保することを想定しています。

また、熊本県の「熊本県人口ビジョン」では、合計特殊出生率を 2030 年までに 2.0、2040 年までに 2.1 まで向上させ、人口流出を 2020 年までに現在の半分程度に縮小し、2060 年の人口が 144.4 万人となることを見込んで

います。(社人研の推計より約 26.8 万人の減少を抑制)

本市においては、「1. 目指すべき将来の方向」にかかげた 4 つの視点に基づく施策を展開し、地方創生が実現された場合の人口の将来展望は次のとおりです。

本市の 2060 年の人口は 68,000 人となる。(社人研の推計より約 11,800 人増加)

- (1) 合計特殊出生率は 2030 年までに 2.1 に上昇し、その後は 2.1 で推移する。
- (2) 本市で生まれ育った若者(15 歳から 24 歳)の人口流出を 2040 年までに現在の半分程度縮小する。
- (3) 生産年齢人口の社会増減が転入超過を維持している。

V. 参考：合志市まち・ひと・しごとアンケート

人口ビジョン策定の為に「合志市まち・ひと・しごとアンケート」を8月10日より配布、同月26日を回収期限として実施した。

【調査方法】

- ・調査方法 調査票の配布回収による定量調査
- ・合志市の各行政区（86区）に対して調査票を送付
- ・指定の年齢層（5歳区分）の10%に送付
- ・指定年齢層（5歳区分） 15-19歳層～65歳-69歳の計11層
- ・男女比率1：1

合志市まち・ひと・しごとアンケート

市民のみなさまへ

平素から市政に対しましてご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

合志市では、地方創生に関する市の「人口ビジョン」を描き、その実現に向けた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。市民の皆さまの率直なご意見をお尋ねし、市の将来のあるべき姿を見据えて、「しごと」をつくり、「ひと」が集うことで「まち」を創生する「総合戦略」の参考にさせていただくため、合志市まち・ひと・しごとアンケートを実施いたします。

調査にあたっては、平成27年8月6日現在、市に住民登録されている15歳以上の方から無作為に6,000人を抽出いたしました。ご多用のところお手数でございますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

平成27年8月
合志市長 荒木義行

【ご記入にあたって】

- ・封筒のあて名となっているご本人がお答えください。(記入については代筆でも結構です。)
- ・この調査は、無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。あなた自身のご意見をありのままにご記入ください。
- ・回答は、番号に○(マル)を付けてください。(囲んでも結構です。)
- ・ご記入が終わりましたら、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて8月26日(水曜日)までにポストに投函してください。(切手は不要です。)

この調査の 問い合わせ先

〈合志市人口ビジョン及び総合戦略策定支援業務受託者 ㈱R-CONNECT(アールコネクト)〉
☎(096)273-6029 (受付時間)8/13,8/14を除く平日10:00~15:00
〈合志市役所 政策部 政策課 政策班(合志庁舎)〉 ☎(096)248-1028(政策班直通)

25歳以上の方に質問です(Q1~Q3まで)

Q1. あなたが合志市に住んでいる理由は何ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①親や祖父母の世代から住んでいる ②引っ越してきた

Q2. Q1で「①親や祖父母の世代から住んでいる」と回答した方に質問です。あなたが住み続ける理由は何ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。【⑧その他】の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①親や祖父母がいるから ②友人・知人がいるから ③安全で住みやすいから ④自然が多い
⑤職場(学校)が市内だから ⑥職場(学校)は市外だが通勤(通学)圏内(1時間以内)だから
⑦子育てがしやすいから ⑧その他()

Q3. Q1で「②引っ越してきた」と回答した方に質問です。あなたが引っ越してきた1番の理由は何ですか。思いつく理由を簡単に書いてください。

()

15歳～24歳の方に質問です(Q4～Q7まで)

Q4. 合志市に住み続けますか。1 つだけ番号にマルをつけてください。

- ①住み続ける ②市外への引っ越しを考えている

Q5. Q4で「①住み続ける」と回答した方に質問です。あなたが住み続ける理由は何ですか。
1つだけ番号にマルをつけてください。⑦その他の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①親や祖父母がいるから ②友人・知人がいるから ③安全で住みやすいから
④自然が多いから ⑤職場(学校)が市内だから ⑥職場(学校)は市外だが通勤(通学)圏内(1時間以内)だから
⑦その他()

Q6-1. Q4で「2市外への引っ越しを考えている」と回答した方に質問です。あなたが引っ越しを考えている理由は何ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。⑨その他の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①市外在住者と結婚するから ②親や祖父母から独立したいから ③友人・知人がいないから
④地域の安全に不安があるから ⑤都会の方が便利だから ⑥職場(学校)が市外だから
⑦その他()

Q6-2. 同じくQ4で「2市外への引っ越しを考えている」と回答した方に質問です。あなたは将来、合志市に戻って住みたいと思いますか。

- ①はい ②いいえ

Q7-1. Q6-2で「①はい」と答えた方に質問です。あなたが合志市に戻って住みたい理由は何ですか。
1つだけ番号にマルをつけてください。「⑩その他」の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①親や祖父母の近くで生活したいから ②友人・知人がいるから ③安全で住みやすいから
④自然が多いから ⑤合志市の風土が好きだから ⑥実家が近いと経済的に楽だから
⑦就職したい企業があるから ⑧合志市での生活に慣れているから ⑨合志市に貢献したいから
⑩その他()

Q7-2. Q6-2で「②いいえ」と答えた方に質問です。あなたが合志市に帰って住みたくない理由は何ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。〔⑨その他〕の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①実家を離れたいから ②友人・知人が少ないから ③都会の方が便利だから
④広いエリアで働きたいから ⑤大手企業が少ないうから ⑥給料が安そうだから
⑦合志市の風土が好きではないから ⑧就職したい会社がないから
⑨その他()

15歳から49歳の方に質問です。(Q8～Q12まで)

Q8. あなたは既婚者ですか独身ですか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①既婚者 ②独身者

Q9 あなたは将来、何人子どもを欲しいと思いますか(現在いる子どもの数も含めて)。
1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①0人 ②1人 ③2人 ④3人 ⑤4人以上

Q10. あなたの希望する子どもの人数に必要な1番の条件は何ですか。(独身者は結婚したと仮定してください。)
1つだけ番号にマルをつけてください。[⑨その他]の方は理由を簡潔に書いてください。

- ①家計のゆとり ②時間の余裕 ③精神的なゆとり ④保育施設
⑤地域の人のサポート ⑥夫または妻のサポート ⑦親など夫婦以外の家族のサポート
⑧勤務先の理解とサポート ⑨その他()

Q11. 現在、子どもがいますか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②いいえ

Q12. Q11で「①はい」と答えた方のみに質問です。
合志市での子育ての環境についてA～Kを評価してください。該当する点数にマルをつけてください。

		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
A	保育園、幼稚園の入りやすさ	1	2	3	4	5
B	子どもの医療費の負担	1	2	3	4	5
C	学校の近さ	1	2	3	4	5
D	防災・防犯の安心さ	1	2	3	4	5
E	学習環境のよさ	1	2	3	4	5
F	緑や自然、まちなみなどの景観	1	2	3	4	5
G	交通・通学の便利さ	1	2	3	4	5
H	病院の近さ	1	2	3	4	5
I	買い物のしやすさ	1	2	3	4	5
J	公園などの遊びやすさ	1	2	3	4	5
K	就職(正社員・パート・アルバイト)のしやすさ	1	2	3	4	5

すべての方への質問です。ご意見をお聞かせください(Q13～Q19まで)

Q13. あなたは男性・女性どちらですか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①男性 ②女性

Q14. 現在のお住まいに住んでいる年数を教えてください。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①3年未満 ②3～5年 ③5～10年
④10～20年 ⑤20年以上

Q15. あなたは合志市に愛着がありますか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②どちらでもない ③いいえ

Q16. あなたは合志市のまちづくりに関心がありますか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②どちらでもない ③いいえ

Q17. あなたは合志市で子ども会やPTA、自治会などの市民同士の交流をもとめていますか。
1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②どちらでもない ③いいえ

Q18. あなたにとって合志市は「地元」と言えますか。1つだけ番号にマルをつけてください。

- ①はい ②どちらでもない ③いいえ

Q19. 「合志市」と聞いてあなたが最初におもいついたことはなんですか。簡潔に書いてください。

()

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。